

# あいさつ運動の好事例

浅口市立鴨方西小学校

(児童数170名 教職員数15名)

## あいさつを全校で盛り上げよう

～ 児童会活動の取組 ～

### アピールポイント

- 毎朝、計画委員と各学年のあいさつボランティア、教職員が「あいさつ運動」を展開している。
- あいさつを意識化するために、本校のキャラクターを考え、気持ちのよいあいさつができた児童に、そのキャラクターのワッペンを配り、あいさつへの意識を高めた。

### 実際の様子



### 鴨西の あいさつリーダー かもっしー (児童が作った五・七・五)



### 取組の概要

#### ■児童生徒の実態

本校では、毎年、児童会が中心となって「あいさつ運動」を行っている。大体の児童はあいさつがよくできるが、あいさつを意識化し、全校のみんなが、もっと気持ちのよいあいさつができるようになればよいと考えた。

#### ■活動内容

- ・計画委員は、毎朝、校門の所であいさつをしている。各学年の「あいさつボランティア」も一緒に行っている。
- ・みんなが好きになるような本校のキャラクター(かもっしー)を考え、気持ちのよいあいさつができる人にワッペンを配ったり、そのキャラクターを通して「あいさつボランティア」を呼び掛けたりした。
- ・どこでも、誰にでも気持ちのよいあいさつができる人に、児童朝会であいさつをしてもらって手本を示し、あいさつを盛り上げた。

#### ■取組の参加メンバー

全校児童・教職員・地域の方

#### ■成果・効果

「かもっしーワッペン」をもらおうと、以前より気持ちのよいあいさつをすることができるようになった。ワッペンをもらうことにより、自分のあいさつが認められたと感じ、さらに気持ちのよいあいさつをしようとする意識が高まった。

保護者や地域の方にも、児童たちがあいさつをがんばっていることが伝わり、あいさつを褒めてくださったり、あいさつ運動に参加して下さったりする方もいた。